

おそきの学校と地域を考える会 青梅市市民提案協働事業に応募し採択(承認)される

提案テーマは、「自分を守る・家族を守る・地域を守る♡みんなで守る ～災害時避難安全カードづくり&ヘリサイン更新～」。「避難安全カードづくり」は、青梅市市民活動推進課・防災課と協働、第6支会・第七小学校・第六中学校と連携して、震災時・風水害時に各個人が避難など行動すべきことを記入し、冷蔵庫等に吊り下げておく「避難安全カード」を独自に作成するもの。「ヘリサイン更新」は、青梅市防災課・青梅消防署と協働、第6支会・第七小学校・第六中学校・おやじの会と連携して、第七小学校・第六中学校の屋上にある「ヘリサイン」が10年経過し色が薄れているので更新するもの。

青梅市市民提案協働事業は、市民団体が青梅市行政と協働で行いたい事業を提案し、市民と行政による審査委員会の1次書類審査、2次プレゼンテーション審査を通過し採択されると、担当課と協働で実施できる制度。現在は、1年間に5事業までの採択となっており、1事業あたり最大20万円の助成金予算が認められる。今年度は1事業のみが申請・採択され、追加募集が実施されたところへ応募したもの。事業は令和2年3月末までに終了し、報告書の提出と報告会での報告が必要となる。



2次プレゼンテーション審査の様子

避難安全カードづくりの概要

1. 「避難安全カードづくり」は、第6支会・第七小学校・第六中学校と連携して行います。カードを作る過程が訓練でもあり、災害発生時の各個人の対応を「避難安全カードづくり」を通じて検討することにより、自助・近助・共助の大切さが「見える化」できると考えています。安心安全で暮らしやすい地域となるには、「お互いに声掛け」ができる「ひとのつながり」や「ご近所の助け合い意識」で「地域の仲間の命を守る」ことが、「避難安全カードづくり」により「見える化」され、また、災害発生時に被害者がゼロになることを目指します。
2. 「避難安全カード」作成後に第6支会会員、第七小学校・第六中学校・おそき保育園の児童・生徒・園児・職員および市内の正副自治会長へ配布します。
3. 他の支会や自治会での作成希望を募り、「東京都の底力事業」等を活用しての作成に第6支会を通じ協力します。

ヘリサイン更新

ヘリサインは大災害発生時に、ヘリコプターから現在位置が確認しやすいよう建物屋上などに名称等を記載するものです。第七小学校では



第七小屋上のヘリサイン

市内で最も早くヘリサインの作成を行いました。10年前におやじの会が設立され、学校と一緒に

作成しました。その年に第六中学校でも学校・生徒・PTAで作成しています。今回は10年が経過し色が薄れているので、学校や児童・生徒・地域住民・関係者でペンキを塗って目立つようにし、災害発生時の対応力を高めます。

1面表題脇写真は「JA西東京小曾木経済店舗の移動販売車」 青梅市小曾木4-2244

JA西東京小曾木経済店舗では、移動販売車による食料品・生活雑貨・地場産農産物などの販売を行っています。火曜日と木曜日を中心に成木地区や小曾木地区を回っており、小曾木市民センター駐車場は木曜日11:10~11:30となっています。他の日、現在回っていない場所でもご希望があれば行けるとのことです。

連絡先は、JA西東京小曾木経済店舗 電話 74-5381 までとなっています。



編集後記

今年度より「おやじの会」の会長になった小野寺です。おやじの会の発足からの合言葉、「出来る人が」「出来る時に」「出来る事を」を引継ぎ、活動しています。現在、小学校の児童が減ってしまい、また現役世代の保護者の会員も減少傾向にある中で、OBの方にも協力して頂きながら、小学校、中学校、小曾木地区のお役にたてるように皆さんに協力して頂いています。

私としては、七小、六中、小曾木保育園に子どもを通わせています。子どもたちや地域の方とのふれあいを楽しみに活動し、その中で自分自身も成長出来ればと思い参加しています。実際には、「飲みニケーション」を中心に楽しみながら参加し、新しい会員が増えればと思っています。また、現在の学校などの情報を地域の方へ伝えて活動に役立てられればと思っています。子どもたちと地域の方との架け橋となれば良いなと思っていますので、これからもよろしくお願いいたします。(小野寺洋智)

